

TOTO

小型電気温水器(元止め式)

湯ぽっと
REBH03型(壁掛けタイプ)

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

7 安全上の注意

安全のために必ずお守りください

取付工事の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
この施工説明書では、商品を正しく取り付けていただき、使用者への危害や財産への損害および
工事者への危険を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示は、次のようになっています。
内容をよく理解して正しく取り付けてください。

表 示	意 味
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示については次の意味があります。

絵表示	意 味	絵表示	意 味	絵表示	意 味
	一般的な禁止		アースを接続せよ		必ず実行

取付工事完了後、施工説明書に記載の「試運転」に従って各部の点検を行い、器具のガタつきや漏電・水漏れなど安全上の不具合がないことを確かめてください。

商品に同梱されている「取扱説明書(保証書付)」は、使用者に商品を正しく安全に使用していただくための重要な書類です。紛失したり汚れたりしないように大切に保管し、工事完了後、使用者または建築工事責任者にお渡しください。
なお、保証書には必要事項を必ずご記入ください。

 警告	
 分解禁止	修理技術者以外の方は、この説明書に記載された項目以外は絶対に分解・修理・改造は行わない 感電や故障の原因になります。
 水場での使用禁止	水がかかったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームには使用しない 感電や故障の原因になります。
 禁 止	屋内用のため、屋外には設置しない 感電や故障の原因になります。
	水・油・洗剤などがかかる位置に電気温水器本体および電源プラグ用のコンセントを設けない 感電や故障の原因になります。
	電源コードの加工(切断・継ぎ足し)を行わない 感電・火災の原因になります。
 アース接続	指定する電源以外では使用しない ヒーターの断線・火災などの原因になります。
	コードを乱暴に扱ったり、ガタついているコンセントに差し込まない 火災の原因になります。
 アース接続	電気工事は、関連する法令、法規に従って必ず「有資格者(電気工事士)」が行い、アース(D種接地工事100Ω以下)工事を行う 誤った工事を行うと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
 必ず実行	漏電遮断器を取り付ける 感電や故障の原因になります。
	開梱後、不要になった梱包材は速やかに処分する ダンボールやビニール袋などは子供などがかぶって遊び、思わぬ事故につながるおそれがあります。

7 安全上の注意 (つづき)

⚠ 注意



禁止

タンク内が満水になっていないときは、絶対に電源スイッチを入れない
空焚きとなり、故障や事故の原因になります。

水道水以外は、通水しない
井戸水や造水などを使用すると腐食などにより水漏れするおそれがあります。

商品に強い力や衝撃を与えない
故障や水漏れの原因になります。

専用水栓の吐水口にホースや洗浄器、節水器具などの抵抗となるものを接続しない
機器の破損や水漏れの原因になります。

湯は、飲料用に用いない
健康を害するおそれがあります。



接触禁止

吸気栓に触れるときは、タンク内の湯を出し切って水になっている
ことを確かめてから行う
やけどをするおそれがあります。



必ず実行

水抜きを行うときは、必ず電源スイッチを「切」にする
空焚きとなり、故障・やけどの原因になります。

給水口に接続する前に必ず、配管内のゴミなどを取り除くため止水栓を
開けバケツ2杯(約20L)程度の水を捨てる
フィルターを通ったゴミが機器内に入り、故障や水漏れの原因になります。

凍結のおそれがある場合は、電源プラグを抜いてタンク内の湯を抜く
凍結破損し、水漏れのおそれがあります。
「12 水抜き方法」を参照ください。

必ず連結配管内の水抜きがスムーズにできる勾配で取り付ける
凍結した場合、破損し水漏れするおそれがあります。

必ず専用水栓を使用する
水漏れの原因になります。

フィルター付き止水栓の掃除をする際は、いきなりふたをゆるめず、
止水栓または元栓を閉めてから行う
水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

おねがい

- 給水圧力は最低必要水圧(流動時)0.07MPa・最高水圧(静止時)0.75MPaです。
この圧力の範囲内でご使用ください。
(0.07MPa未満で使用すると流量が少なくなります。)
- 取扱説明書内の保証書に、取付店または販売店名およびお引渡し日を必ず記入してください。
- 必ずフィルター付き止水栓(必要別売品)を取り付けてください。
- 給水管にはフレキシブル管をご使用ください。
(鋼管などで接続されると、シール剤などが内部に入り、作動不良を起こす場合があります。)
- 空焚き、施工上の不具合は当社では責任を負いかねます。万一施工上に起因する不具合が
生じた場合は、貴店の保証規定によって修理していただくようお願いいたします。
- ケースにテープで貼られている注意事項は必ずお読みください。
- 天井裏など日常点検ができない場所への設置は避けてください。

2 部品の確認

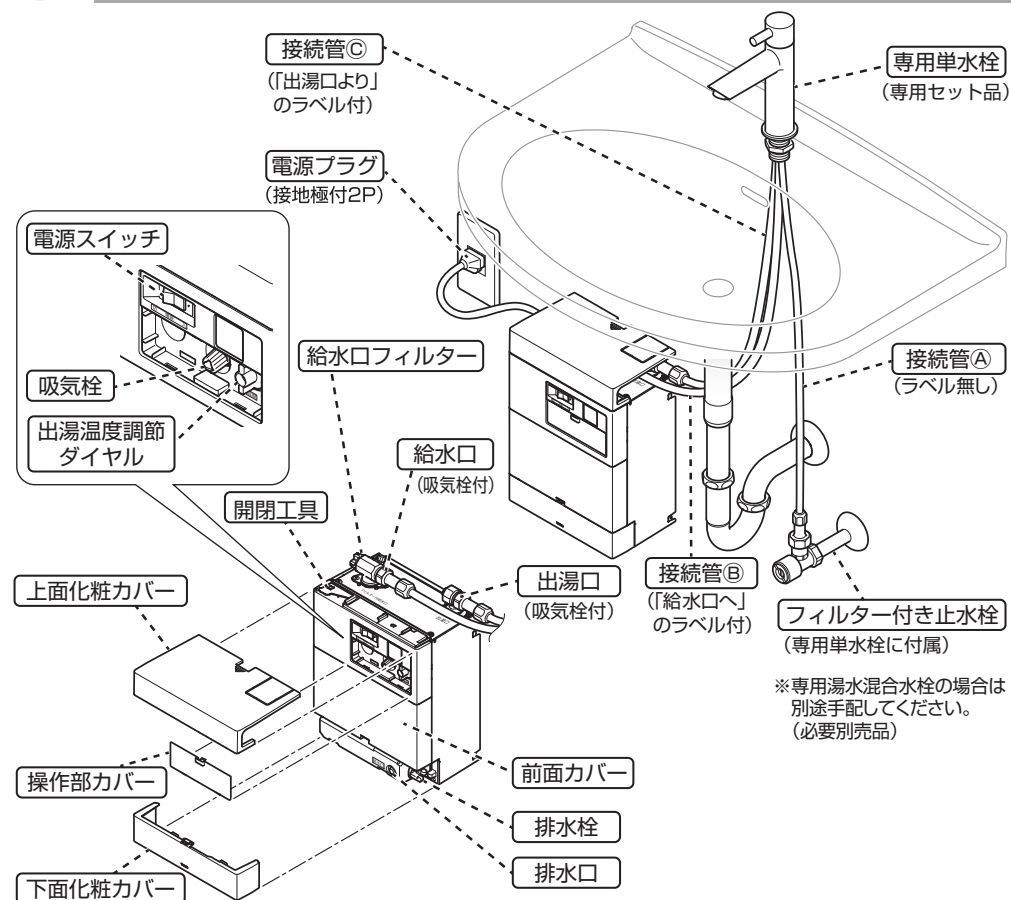
施工前に必ず部品を確認してください。

①電気温水器本体	②水抜きチューブ、 取扱説明書(保証書付)、 施工説明書	③固定金具類	④袋ナット、 テーパリング、 パッキン、 パッキンガイド、 ソケット
	お客様にお渡しください 水抜きチューブ L=300mm 取扱説明書 施工説明書 (本紙)	木ねじ 皿タッピンねじ (φ5.1×32) (φ4×10) ×3 ×1 取付金具 固定金具	袋ナット テーパリング パッキンガイド パッキン ソケット パッキン

■専用セット品

品 名	形 状		品 番	備 考
専用湯水 混合水栓		一般地用	TLS21-1E	元止め式 専用湯水 混合水栓
		寒冷地用	TLS21-1EUZ	
専用単水栓		一般地用	TLC11ER (壁給水用) TLC11EDR (床給水用)	元止め式 専用単水栓
		寒冷地用	TLC11ERZ	

3 各部の名称



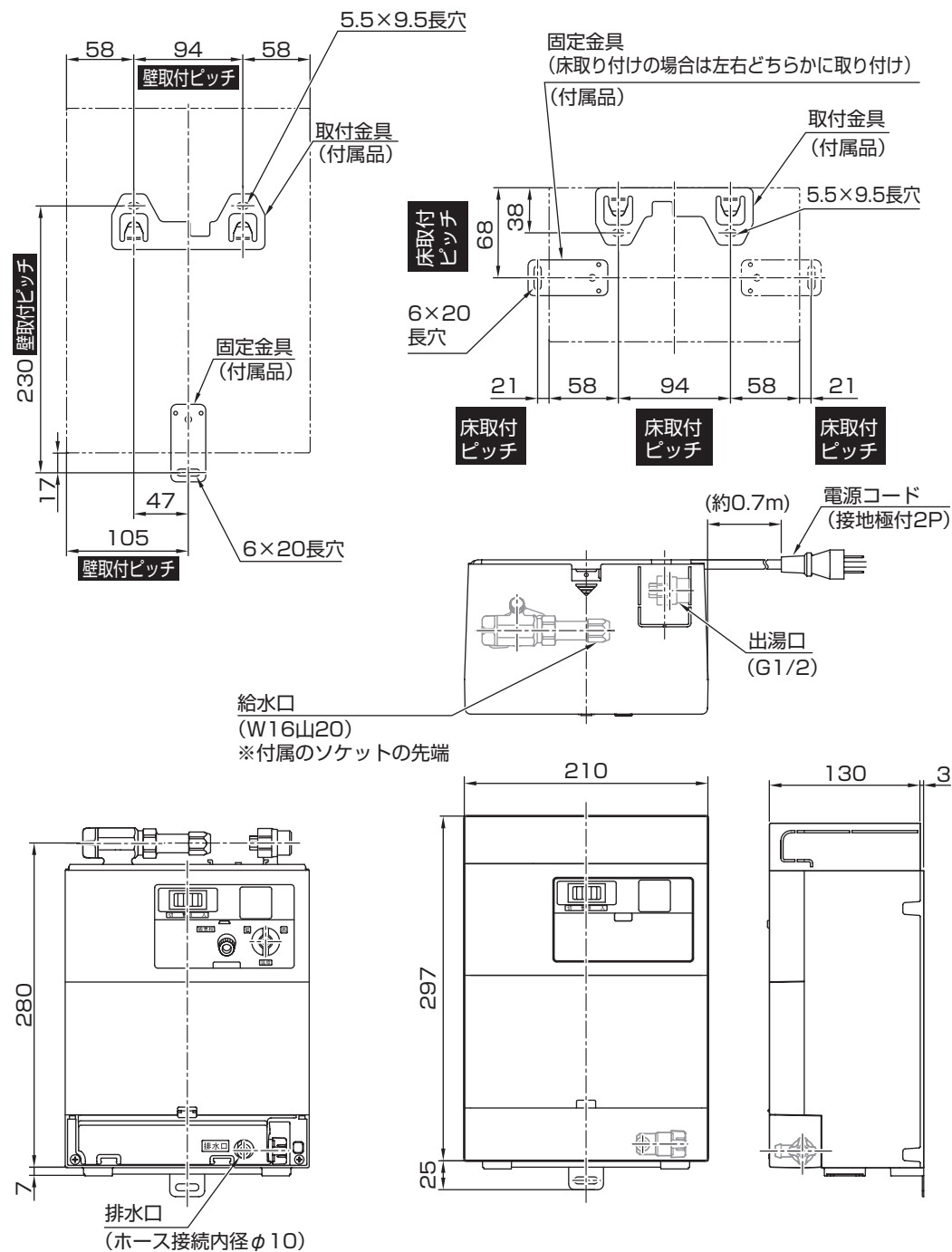
4 仕様

- | | | | |
|--------------|--|---------------|----------------------|
| ●給水方式 | : 元止め式 | ●商品質量 (満水時) | : 約3.5kg
(約6.0kg) |
| ●出湯温度 | : 約36℃ (ただし出湯温度調節ダイヤルで調節可能)
※給水温度約15℃、ダイヤル位置センターの場合 | ●使用环境温度 | : 1~40℃(※) |
| ●出湯温度調節範囲の目安 | (給水温度 約5℃): 31~37℃
※ (給水温度 約15℃): 33~38℃
(給水温度 約25℃): 35~39℃ | ●最低必要水圧 (流動時) | : 0.07MPa |
| ●沸き上げ温度 | : 約70℃ | ●最高水圧 (静止時) | : 0.75MPa |
| ●安全装置 | : 手動復帰式バイメタル 温度ヒューズ | ●電圧 | : AC100V |
| | | ●電源コード | : 約0.7m |

(※) 环境温度、および水温が高い場合は、使用环境温度範囲内においても一瞬設定温度よりも高温の湯が出る場合もあります。

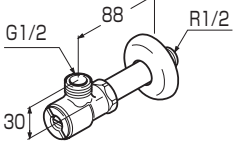
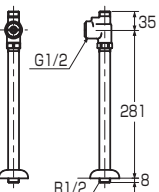
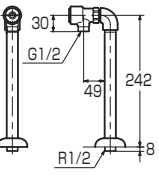
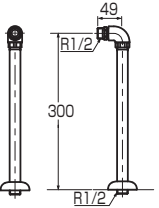
■詳しくは取扱説明書を参照ください。

5 寸法図



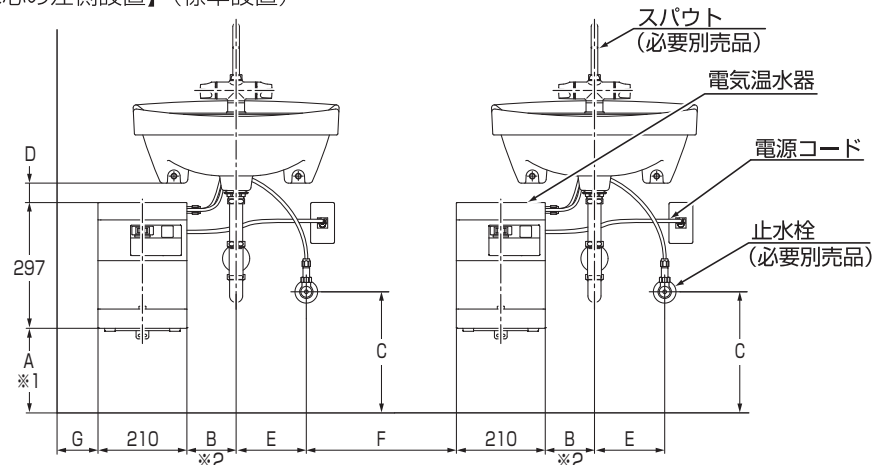
6 別売品一覧

★は専用湯水混合水栓の必要別売品です。
専用単水栓は止水栓が付属されています。

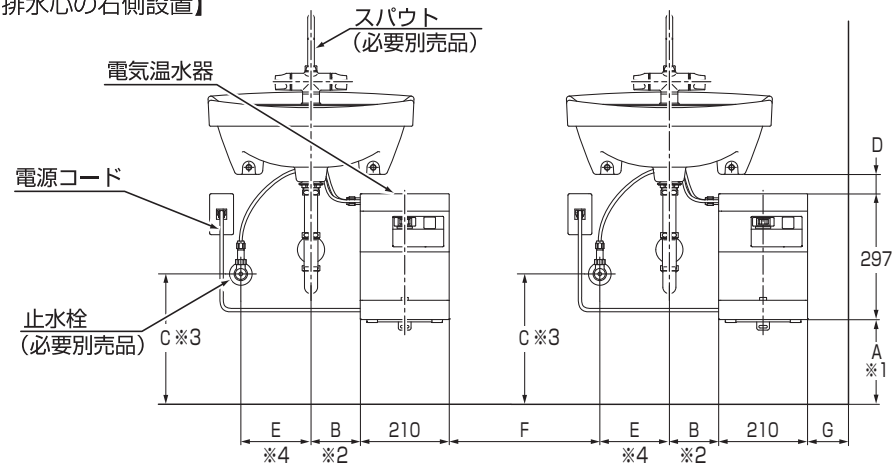
品 名	形 状	品 番	備 考
壁給水		TL347CU	一般地用の専用湯水混合水栓 (TLS21-1E) 及び寒冷地用の専用湯水混合水栓 (TLS21-1EUZ) で使用
★止水栓		TL348CU	一般地用の専用湯水混合水栓 (TLS21-1E) で使用
床給水		TL347C1R	寒冷地用の専用湯水混合水栓 (TLS21-1EUZ) で使用
給水金具		T6BR	寒冷地用の専用単水栓 (TLC11ERZ) の床給水で使用
つきだしソケット		TN92-1	

7 設置条件

【排水心の左側設置】(標準設置)



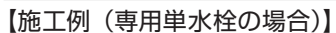
【排水心の右側設置】



- A 寸法: 100 以上
(車いす対応の場合 250 以上)
- B 寸法: 75 以上
- C 寸法: 350 以上
- D 寸法: 50 以上
- E 寸法: 100 以上
- F 寸法: 45 以上
(止水栓の施工時、操作時に必要な寸法)
- G 寸法: 10 以上
- 施工時、メンテナンス時に必要な寸法
(洗面器下端から電気温水器天面までの距離)

- ※1: 水栓の銅管が届く位置に設置してください。
- ※2: 以下のカウンターおよび洗面器の場合は50以上
MC30/35/50/55、LS703/715/721C/721CM
- ※3: 床給水の場合は止水栓の高さにあわせて施工ください。
- ※4: 専用湯水混合水栓の寒冷地用(TLS21-1EUZ)の場合は160以上

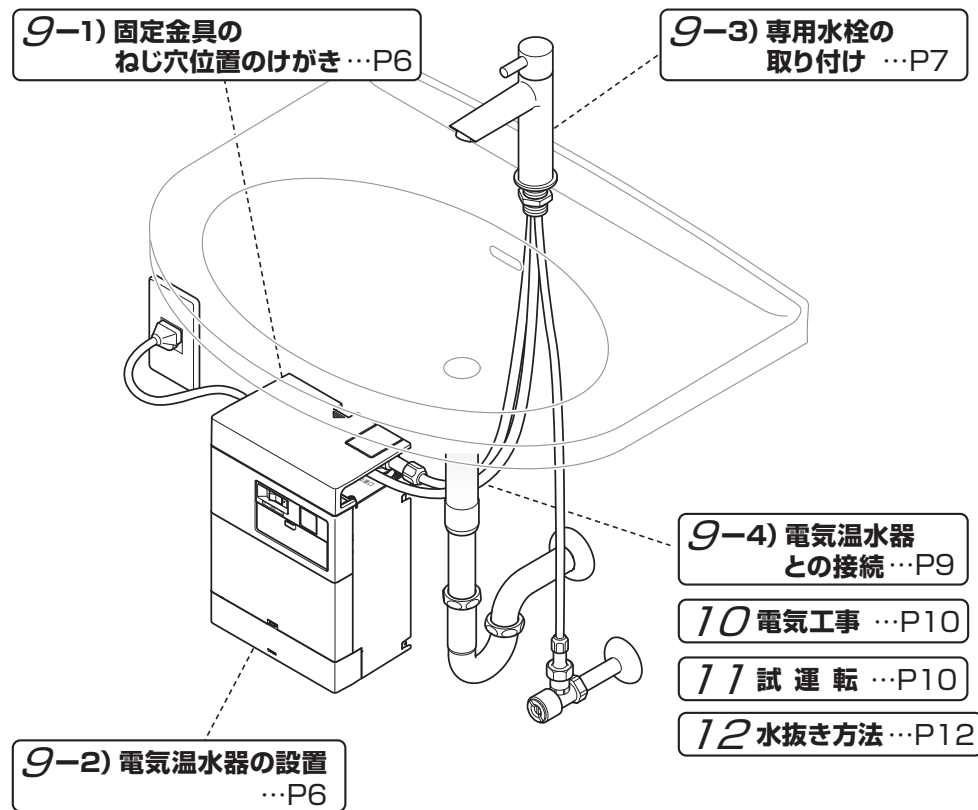
【施工例（専用湯水混合水栓の場合）】



注意

施工の際は、けが防止のため手袋などを着用して行ってください。

取付手順は以下の通りです。



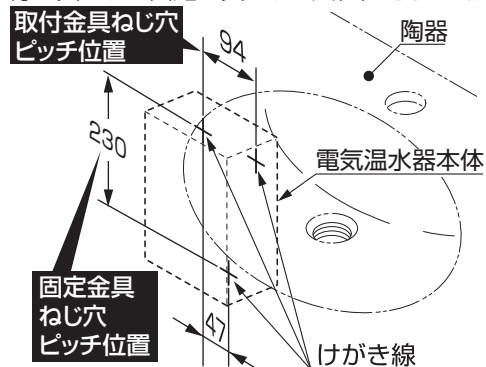
9 取付手順 (つづき)

1) 固定金具のねじ穴位置のけがき

壁に設置する場合

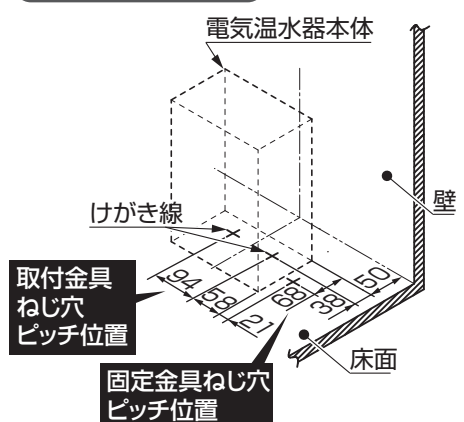
(単位: mm)

「7.設置条件」を参考にして電気温水器本体の固定位置を決め、「5.寸法図」を参考に、壁に取付金具および固定金具のねじ穴位置をけがく。



床に設置する場合

(単位: mm)



※床に置く場合は壁から 50mm 以上離す。

注意

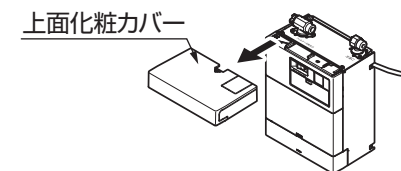
必ず商品の天底の位置を守って施工してください。
(逆さ、横置き、寝かせ置きにすると十分な出湯性能が得られません。)

2) 電気温水器の設置

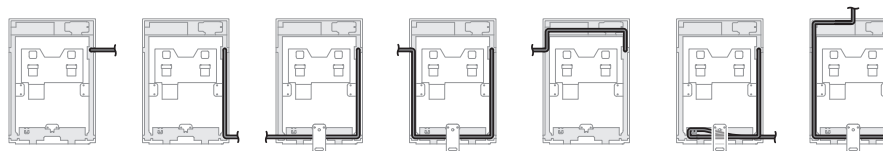
注意

電気温水器本体を床に仮置きする場合、傷がつくおそれがあります。
梱包の緩衝材を床に敷くなどして作業を行ってください。

①電気温水器本体の上面化粧カバーを外す。(右図参照)



②電源コンセントの位置に合わせて電源コードを下記のように収納し、長さを調整する。



壁に設置する場合

設置を行う壁に応じて、取り付け前に下記準備を行ってください。

〈タイルまたはコンクリート壁に取り付ける場合〉

ねじ穴位置に下穴を開けカールプラグ (現場手配) を打ち込む。
※カールプラグは木ねじ (φ5.1×32) に合うものを手配してください。

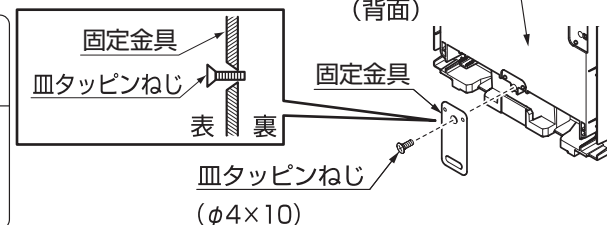
〈木製の壁に取り付ける場合〉

商品満水時の質量 (6Kg) に耐えうる構造 (乾式工法の場合、取付強度を保つため、下地に 12mm 以上の JAS 規格合板相当をお使いください) であることを確認し、取付金具を木ねじ 2 本で固定し固定金具を木ねじ 1 本で固定する。また、必要に応じて壁構造に応じた十分な補強を施す。

③電気温水器本体に固定金具を皿タッピンねじ 1 本で固定する。電気温水器本体 (背面)

注意

電動ドライバーなどを使わずに、手締めをしてください。
固定金具は表と裏を間違えないようにしてください。電源コードを傷つけないこと。



9 取付手順 (つづき)

④取付金具を位置に合わせて木ねじ2本で固定する。

⑤取付金具へ電気温水器本体を引っ掛け、固定金具を木ねじ1本で固定する。

注意

本体が水平になるように取り付けてください。

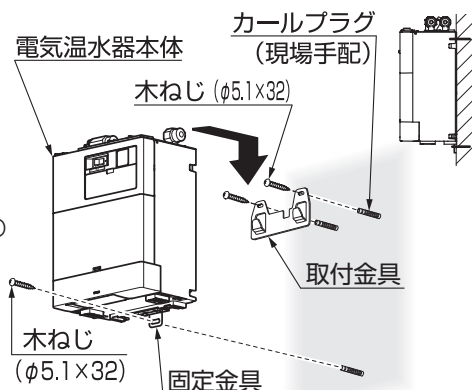
電源コードのかみ込み、エッジ部への接触などに注意してください。

床に設置する場合

フロントパネル付のカウンターの中など隠蔽部の設置を推奨します。

注意

露出設置した場合、外部から過大な力が加わると電気温水器が転倒する恐れがあります。

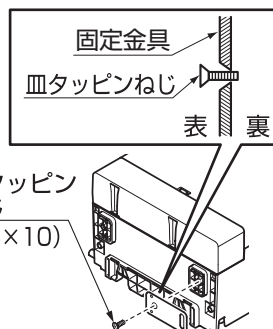


〈床材 (建築躯体側) がコンクリートの場合〉

アンカーとしてカールプラグを現場手配して施工してください。

〈床材 (建築躯体側) が木材の場合〉

必ず厚さが15mm以上の合板に固定してください。
固定には同梱されている木ねじ (φ5.1×32) と座金を現場手配して施工してください。



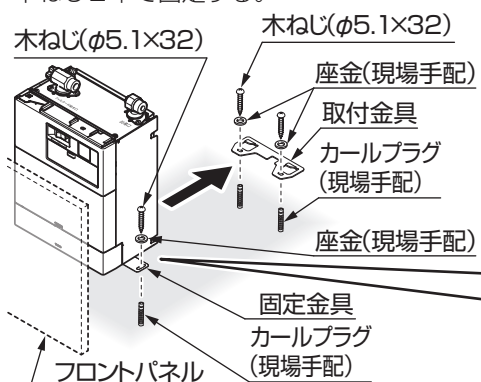
注意

電動ドライバーなどを使わずに、手締めをしてください。

固定金具は表と裏を間違えないようにしてください。電源コードを傷つけないこと。

③電気温水器本体に固定金具を皿タッピンねじ1本で固定する。

④取付金具を位置に合わせて木ねじ2本で固定する。



電気温水器本体を図のように傾けながら、取付金具に取り付けてください。

取付金具の奥まで確実に押し込んでください。

⑤取付金具へ電気温水器本体を取り付け、固定金具を木ねじ1本で固定する。

3) 専用水栓の取り付け

① 専用水栓のみの作業

② 専用水栓と専用湯水混合水栓のみの作業

(1) 専用水栓の仮固定

①取付穴周囲の汚れを取り、本体脚部を取付穴に差し込む。

注意

〈専用湯水混合水栓の場合〉

取付穴φ35に取り付ける場合、平パッキンを専用湯水混合水栓に同梱の段付きパッキンに取り替えてください。
(平パッキンのまま取付穴φ35に取り付けると、水漏れ、ガタツキの原因となります。)



平パッキン (φ28用)



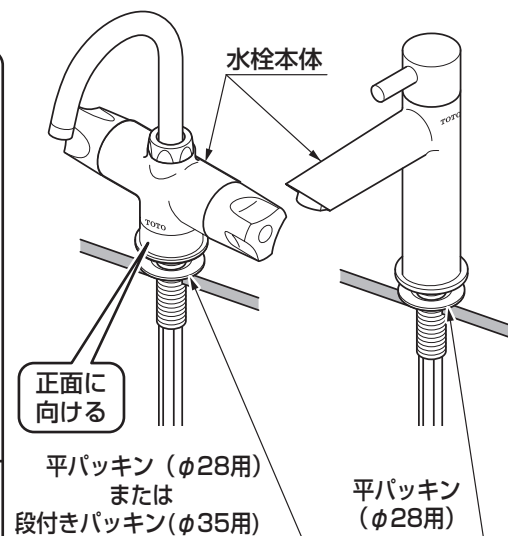
段付きパッキン (φ35用)

〈専用湯水混合水栓の場合〉

TOTOマークを後ろに向けると湯・水のハンドルが逆になります。

専用湯水混合水栓

専用水栓



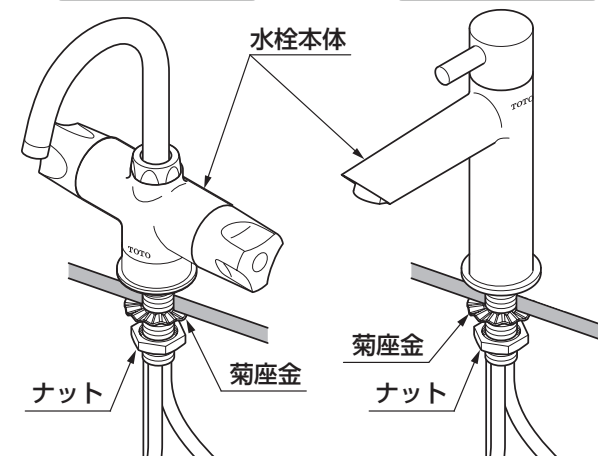
※専用水栓は平パッキンのみ

②菊座金、ナットを手締めで仮固定する。

※工具を用いての固定は、各接続管と電気温水器を接続後に行います。

専用湯水混合水栓

専用水栓



9 取付手順 (つづき)

⚠ 注意



給水口に接続する前に必ず、配管内のゴミなどを取り除くため止水栓を開けバケツ 2 杯 (約 20L) 程度の水を捨てる。フィルターを通ったゴミが機器内に入り、故障、水漏れや流量不足の原因になります。



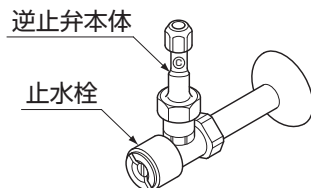
フィルター付き止水栓の掃除をする際は、いきなりふたをゆるめずに、止水栓を閉めてから行う。水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

注意

給水管にはフレキシブル管をご使用ください。鋼管などで接続されると、シール剤などが内部に入り作動不良を起こす場合があります。建築躯体側配管の接着剤が乾燥していない状態で電気温水器を取り付けしないでください。接着剤が乾いていない状態で湯を通すと湯がにおうことがあります。必ず接着剤が乾いていることを確認してから取り付けてください。

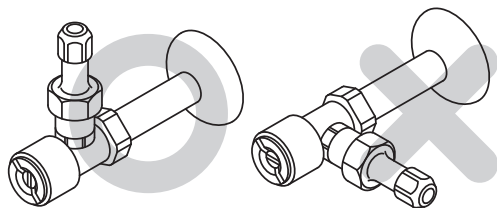
(2) 逆止弁の取り付け 混

- 一般地用の場合
専用水栓に付属の逆止弁本体を止水栓にねじ込む。

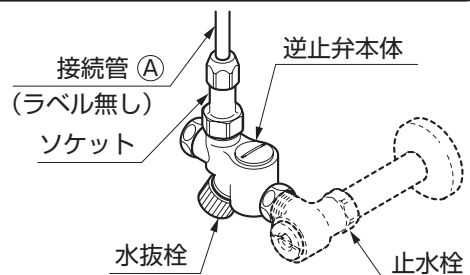


注意

逆止弁本体は垂直に取り付けてください。
(横向きにすると接続管が抜けるおそれがあります。)

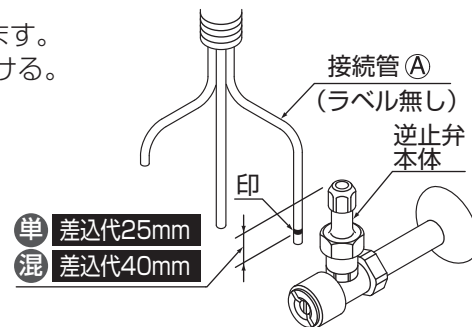


- 寒冷地用の場合
専用水栓に付属の逆止弁本体を止水栓に取り付ける。
このとき、水抜栓が下になるようにする。

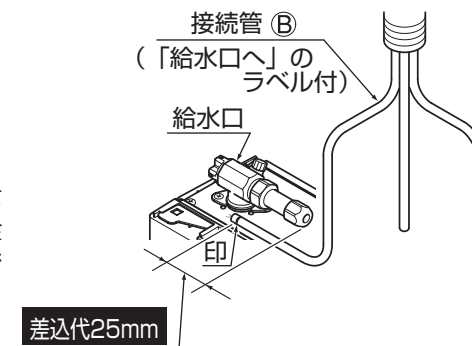


(3) 接続管の寸法あわせ

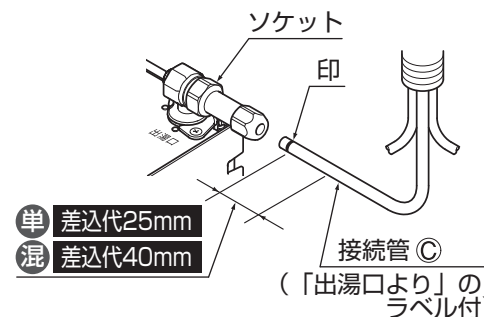
- 接続管 ① (ラベル無し) は逆止弁に接続します。
必要な長さを確認し、切断位置に印を付ける。
このとき必要な差込代を確保してください。



- 接続管 ② (「給水口へ」のラベル付) は電気温水器の給水口に接続します。
給水口にパッキンとソケットを取り付けて、その先端に袋ナットを給水口に仮に付け、必要な長さを確認し、切断位置に印を付ける。
このとき必要な差込代を確保してください。
※印を付けたあと、袋ナットは外してください。
※電気温水器同梱のパッキンとソケットを給水口に取り付けてください。専用単水栓の場合は、付属のソケットが不要ですので取り外してください。



- 接続管 ③ (「出湯口より」のラベル付) は電気温水器の出湯口に接続します。
① 専用水栓に同梱のソケットを出湯口にねじ込む。
② 接続管 ③ の必要な長さを確認し、切断位置に印を付ける。
このとき必要な差込代を確保してください。



(4) 接続管の切断

水栓を取り外して、前項で印をした箇所を切断する。
切断の際のバリや切粉は十分取り除いてください。

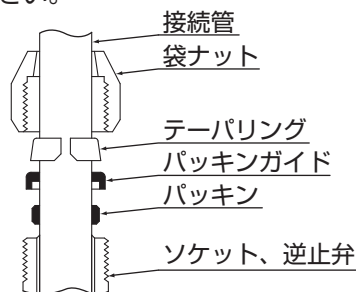
9 取付手順 (つづき)

4) 電気温水器との接続

注意

接続管は必ず上り勾配になるようにしてください。

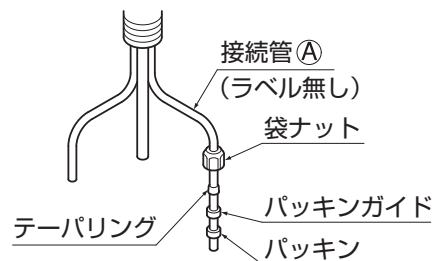
袋ナットは手で強くねじ込んだあと、さらに工具を使って、1回転以上ねじ込んでください。
テーパリング・パッキンガイド・パッキンの順番、向きを間違えないでください。



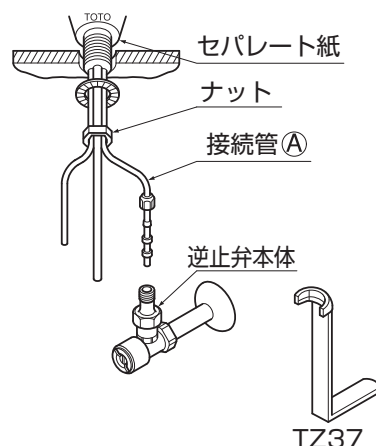
注意

工事の際、接続管をつぶさないように注意してください。

- ①専用水栓に付属の逆止弁の袋ナット、テーパリング、パッキンガイド、パッキンを接続管 (A) (ラベル無し) に入れる。



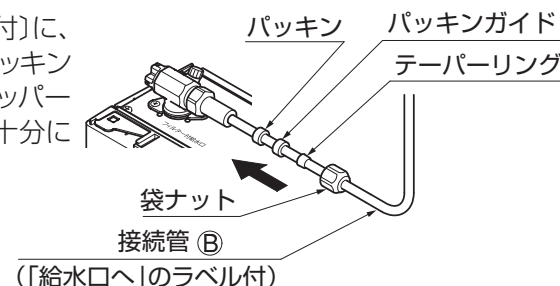
- ②水栓全体をいったん持ち上げ、セパレート紙をはぎ取ってから接続管 (A) が逆止弁に入るよう押し下げる。
入ったら水栓本体をナットでしっかり固定し、接続管の袋ナットを工具で十分に締め付ける。
なお、ナットの締め付けは専用工具 (TZ37) をご利用ください。



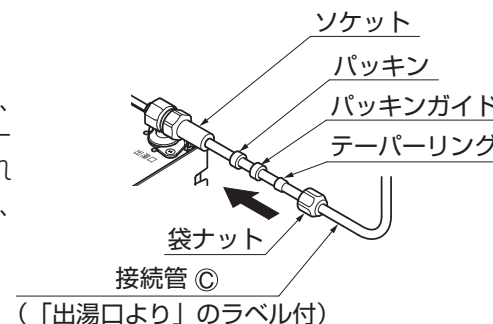
注意

接続管 (A) は、逆止弁本体のストッパーに当たるまで差し込んで袋ナットを工具で十分に締め付けてください。

- ③接続管 (B) (「給水口へ」のラベル付) に、同梱品の袋ナット、テーパリング、パッキンガイド、パッキンを入れてから、ストッパーに当たるまで差し込み、袋ナットを十分に締め付ける。



- ④接続管 (C) (「出湯口より」のラベル付) に、出湯口の専用水栓に付属の袋ナット、テーパリング、パッキンガイド、パッキンを入れてから、ストッパーに当たるまで差し込み、袋ナットを十分に締め付ける。



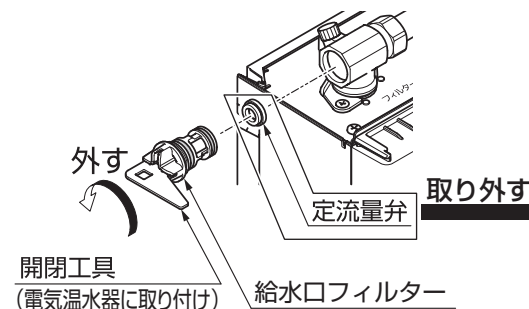
- ⑤定流量弁の取り外し
(専用単水栓の場合のみ)

専用単水栓を使用する場合は専用単水栓側に定流量弁が入っていますので、電気温水器側の定流量弁を取り外してください。
吐水流量が不足して手洗いがしにくくなります。



定流量弁の取り外す手順

- ①開閉工具で止水栓を閉める。
②開閉工具で給水口フィルターを外し、定流量弁を取り外す。
③開閉工具で給水口フィルターを本体に取り付ける。
※給水口フィルターの取り付けは確実に行ってください。



10 電気工事

⚠ 警告



指定する電源以外では使用しない
ヒーターの断線・火災などの原因になります。



電気工事は、関連する法令、法規に従って必ず「有資格者（電気工事士）」が行い、アース（D種接地工事100Ω以下）工事を行う
誤った工事を行うと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。



漏電遮断器を取り付ける
感電や火災の原因になります。

1) 電源が規定の電圧であることを確認する。

※規定の電圧以外での使用は故障の原因となりますので、絶対に行わないでください。

2) 接地極付電源プラグになっていますので、必ず、対応したコンセント工事と電源容量を確保する。

代表対応コンセント	電 圧	消費電力
パナソニック:WK3001W(露出型) WF3002WK(埋込み型)	AC100V	0.6kW

11 試運転

⚠ 注意



タンク内が満水になっていないときは、絶対に電源スイッチを入れない
空焚きとなり、故障や事故の原因になります。

1) 電気温水器への給水

①電気温水器に取り付けの開閉工具で止水栓を開ける。

電気温水器に取り付けの開閉工具で中央凹部を左に回す

開ける

止水栓

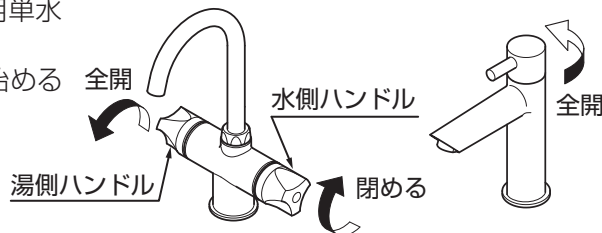
②専用湯水混合水栓の水側ハンドルを閉め、湯側ハンドル、または専用単水栓を全開にする。

(吐水口から水が安定して出始めるとタンクは満水です。)

満水になるまでには、約2分程かかります。

専用湯水混合水栓

専用単水栓



11 試運転 (つづき)

③専用湯水混合水栓の湯側ハンドル、または専用単水栓を閉め、配管接続部に水漏れがないか確認する。

2) 電気温水器への通電

空焚き禁止

(タンクが満水になる前に電源スイッチを「入」にしない)

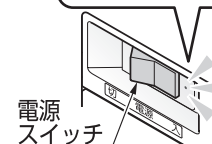
①電気温水器の電源プラグをコンセント根元まで確実に差し込む。



②電源スイッチを「入」にし、ランプが点灯することを確認する。

「入」ランプ点灯

電源スイッチ



スパウトからポトポト滴下する水について

沸き上げ中はスパウトから湯が出ます。

これはタンク内部の膨張水を排出しているもので、故障ではありません。

沸き上げが終わると、膨張水の排出は止まります。

③沸き上がると電源スイッチのランプが消灯します。

流量調整方法 (P9 定流量弁の取り外す手順を参照にしてください)

※専用湯水混合水栓において流量が不足する場合のみ、下記作業を行ってください。

①開閉工具で止水栓を閉める。

②開閉工具で給水口フィルターを外し、定流量弁を取り外す。

③開閉工具で給水口フィルターを本体に取り付ける。

※給水口フィルターの取り付けは確実に行ってください。

④止水栓を開け、流量調節をする。

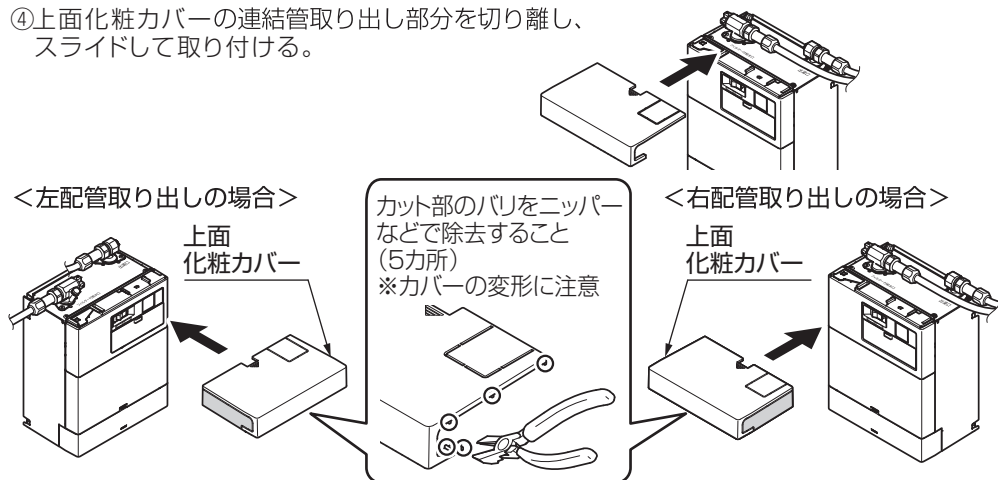
注意

吐水させると音や振動がする場合があります。

そのような場合は、止水栓で調整したり、減圧弁（一軸減圧弁など※現場手配）を取り付けてください。

77 試運転 (つづき)

- ④上面化粧カバーの連結管取り出し部分を切り離し、スライドして取り付ける。



注意

上面化粧カバーに傷を付けないように注意してカットしてください。
カット部のバリでけがをしないように注意してください。

<沸き上がり時間の目安>

給 水 温 度	5℃ (冬)	15℃ (春・秋)	25℃ (夏)
沸き上がり時間の目安	約18分	約15分	約13分

注意

止水栓、給水口のフィルターにゴミが詰まると故障の原因になります。
試運転後、フィルターの掃除を行ってください。
掃除の方法は、取扱説明書を参照してください。

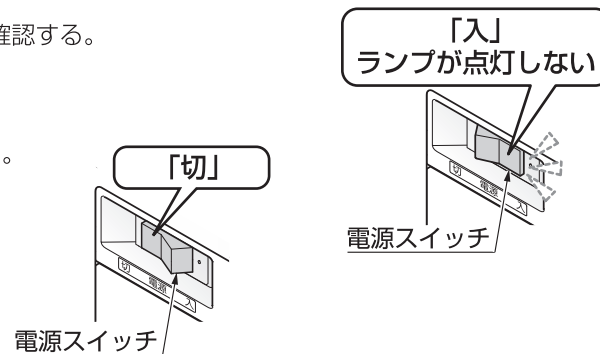
空焚きリセット方法

※万一空焚きした場合は、電源スイッチを「入」にしてもランプが点灯しません。
その場合は、以下の手順で空焚きをリセットしてください。

- ①止水栓が開いていることを確認する。

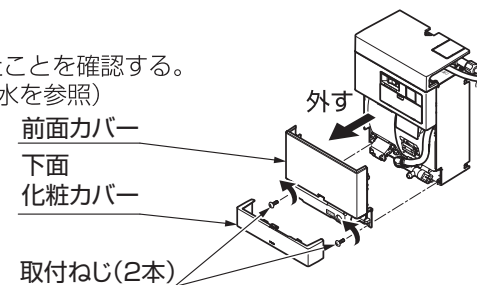
- ②電源スイッチを「切」にする。

- ③電源プラグを抜く。

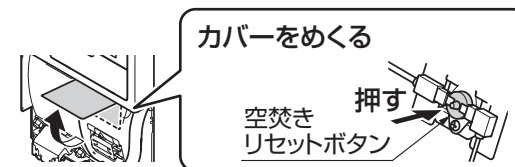


- ④タンクに水を入れて、満水になったことを確認する。
(P.10「試運転」電気温水器への給水を参照)

- ⑤前面カバー・下面化粧カバーを取り外す。



- ⑥空焚きリセットボタンを押す。

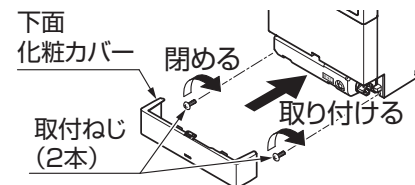


- ⑦前面カバーを取付ねじで固定し、下面化粧カバーを取り付ける。

- ⑧電源プラグをコンセントに差し込む。

- ⑨電源スイッチを「入」にする。

※ランプが点灯し沸き上げ運転が再開されますので、沸き上げ完了後にスパウトからお湯が出ることを確認してください。



12 水抜き方法

試運転後、引き渡しまで長期間使用しない場合は、次の要領で機器内の水を抜いてください。

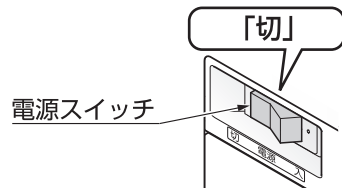
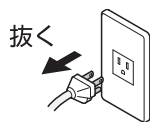
⚠ 注意



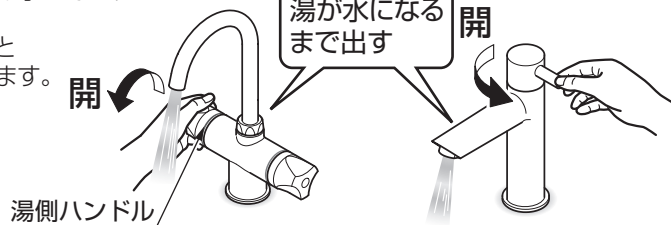
凍結のおそれのある場合は、電源プラグを抜いてタンク内の水を抜く「12. 水抜き方法」を参照ください。
凍結破損し水漏れするおそれがあります。

①電源スイッチを「切」にする。

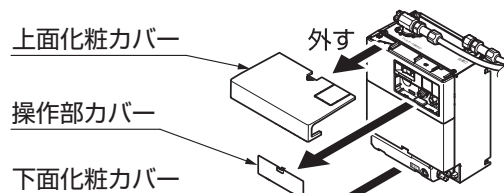
②電源プラグを抜く。



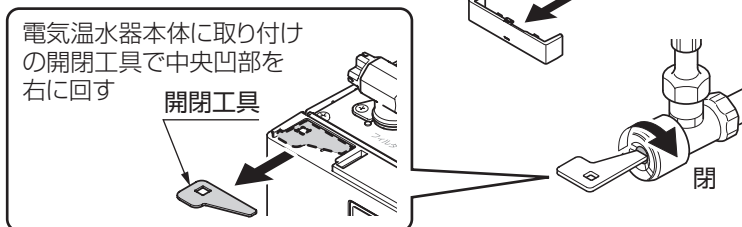
③専用湯水混合水栓の湯側、または専用単水栓を開ける。湯が水になるまで出す。水になったら止めてください。
(注)タンク内に湯が残っているとやけどをするおそれがあります。



④操作部カバーと下面化粧カバーと上面化粧カバーを外す。



⑤止水栓を閉める。



⑥電気温水器の排水口に付属の水抜きチューブを差し込む。水抜きチューブの先に受け皿を置きます。

⑦排水栓を全開にする。(手前方向に回す)
排水栓は全開にしても本体から抜けません。

⑧吸気栓(3カ所)を左に回し、取り外す。排水がはじまります。

⑨給水口フィルターを左に回し、取り外す。

⚠ 注意



吸気栓に触れるときは、タンク内の湯を出し切って水になっていることを確かめてから行う
やけどをするおそれがあります。

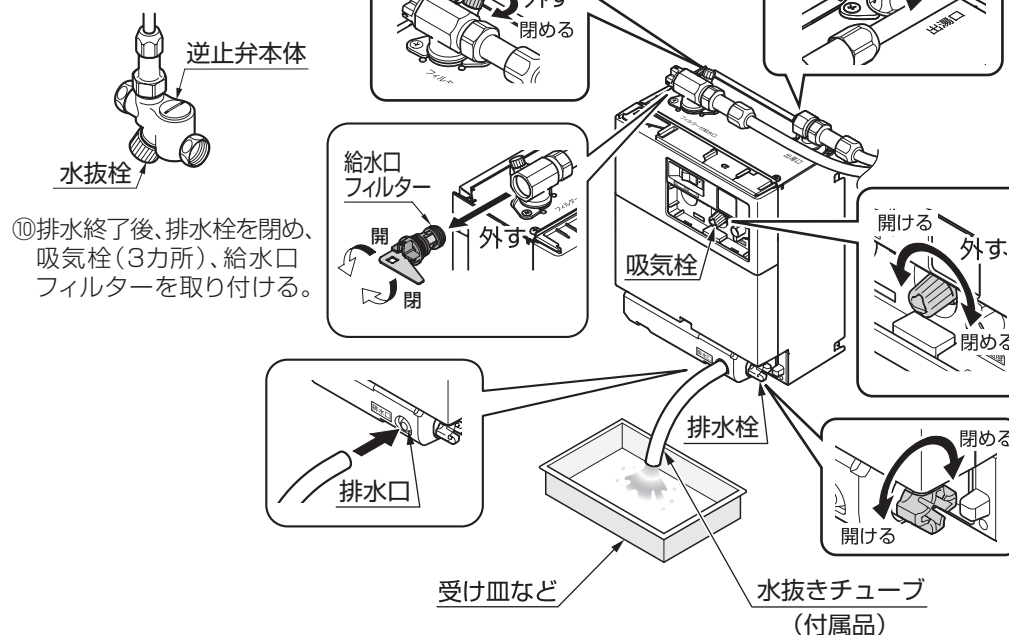
※排水が止まると水抜きは完了します。
(タンクが満水のとき、水抜きは約2分かかります。)

※水抜きする際は、必ず受け皿などで受けてください。
(排水量は約3Lです。)

※逆止弁本体に水抜き栓が付いている寒冷地用のものは水抜き栓を開け、専用水栓の水を抜いてください。

注意

水を抜く際は、必ず受け皿などで受けてください。



⑪排水栓、吸気栓(3カ所)、給水口フィルターが閉まっていることを確認し、水抜きチューブを抜く。

⑫操作部カバーと下面化粧カバーと上面化粧カバーを取り付ける。

注意

電源スイッチが「入」の状態でも配管が凍結する場合は、必ず給水、出湯側の接続管と排水管に保温材または、ヒーターを巻いてください。